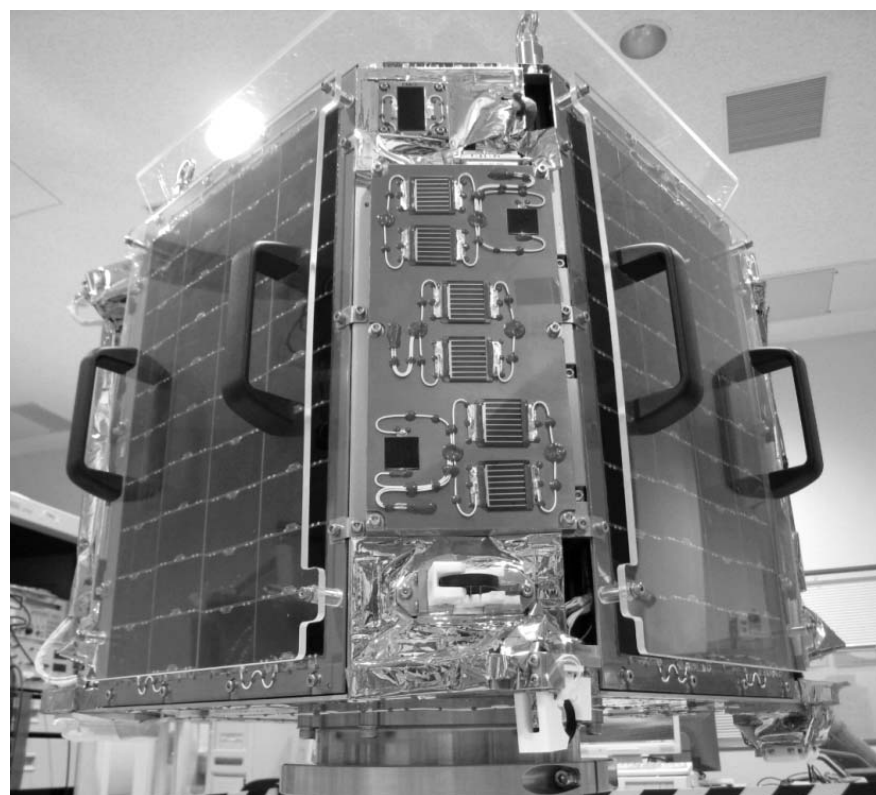


モノづくりにかける熱い思い

～モノづくりフェア2014が開催



ネーミングにも地域色が出ている「まいど1号」

展示ブースにも注目

展示場内には製造業の生産現場や設計・開発部門などで効率化につながる機器や装置、ソフトウェアなど最新の製品が並ぶ。会場は「モノづくりコーナー」「九州自動車生産推進コーナー」「次世代技術コーナー」「中小企業コーナー」「産学官連携・団体PRコーナー」のほか、本年新たに設けられた「環境・エネルギーコーナー」や、前回好評を博した「3D関連技術コーナー」で構成する。

最も多くの企業・団体が出展する「モノづくりコーナー」では、九州域内のみならず全国の企業が出展し、自慢の技術や製品を紹介する。自動車生産拠点として成長を促すために設けられている「九州自動車生産推進コーナー」は、九州地域で操業する日産自動車九州(福岡県刈田町)、トヨタ自動車九州(同宮若市)、ダイハツ九州(大分県中津市)の3メーカーが最新の生産車を展示する。

昨年最も来場者の注目を集めた「3D関連技術コーナー」には、3Dプリンターや、今や製造現場に欠かせない3次元CAD/CAMシステム、3次元測定機、3Dシミュレーターがずらりと並び、モノづくりの最先端を感じるコーナーには、今年も多くの来場者が訪れるに違いない。

今回の展示会ではモノづくりにかける人々の熱い思いを感じることができる特別イベントが行われる。30回記念行事として実施される「モノづくりの底力! 全国町工場サミット」だ。

「下町ボブスレー」を耳にしたことがあるのは、東京・大田区の中小企業群が、ボブスレー競技のソリを共同で製作した。『氷上のF1』ともいわれるボブスレーは九州などで人気が高いスポーツだが、競技に使うソリの多くは欧州の大手自動車メーカーが製作しており、価格は数千円とも言われる。

世界トップメーカーの先端技術が注ぎ込まれたこのソリに日本の町工場が挑む姿は其感を呼び、新聞やドキュメンタリー番組、テレビドラマ、漫画などで取り上げられ話題となった。今回のモノづくりフェアでは九州初登場となる「下町ボブスレー」の実機が展示される。

町工場の東の代表が大田区ならば西を代表するのが大阪・東大阪市。不況に苦しんでいた2002年、この町の職人たちが結集し「人工衛星を打ち上げよう!」と、東大阪宇宙開発協同組合(SOHLA)を立ち上げた。09年1月、宇宙航空研究開発機構(JAXA)のH-IIロケットとの相乗りで種子島宇宙センターから「まいど1号」が打ち上げられたことは記憶に新しい。「国民の二人に一人が知ることとなった」(SOHLA)「まいど1号」に続き、現在SOHLAは「人型宇宙ロボットプロジェクト」という新たな夢に向けて動き始めている。

日本の町工場の力強さを目の当たりにできるこのイベントでは、中心になって推し進めた人々たちによるパネル討論会(10月15日13時半～15時)も予定されている。ボブスレーやまいど1号の模型などの展示物は、展示会の開催期間中、特設会場で見られる。



町工場の熱い思いが込められた「下町ボブスレー」

下町の力を結集 最先端に挑む

わが国の成長を支えてきたモノづくり技術。近年はコストを抑えるため海外への生産移管が進んでいるが、細やかで安定感のある国内のモノづくりが改めて見直されている。日常生活で目にする最終製品だけでは知ることができない

日本の製造現場のすごさを実感できる催しが「モノづくりフェア2014」だ。毎年秋恒例のこのイベント、今年は第30回記念として10月15日から17日までの3日間、福岡市博多区のマリメッセ福岡で開催される。

日替わりイベント連日開催



水素・燃料電池自動車の試乗会も開催

ビジネスパーソンと
安心・安全

福岡県などで構成される福岡水素エネルギー会議は、モノづくりフェアで「水素・燃料電池自動車試乗会」を開催する(10月16日・17日)。14年度中にも一般発売が予定されている水素・燃料電池自動車だが、果たして実際の乗り心地は、まだ乗車したことがない人には絶好の機会だ。

人と社会の豊かな未来を創造する モノづくりフェア2014

2014年10月15日(水)～17日(金)10:00～17:00(最終日は16:00まで)

- ・会 場 マリメッセ福岡(福岡市博多区沖浜町7-1)
- ・入場料 1,000円(招待券持参者は無料)
- ・主 催 日刊工業新聞社

※天神台会場台博多駅間には無料のシャトルバスを運行。
☆最新情報はホームページでも

<http://www.nikkanseibu-eve.com/mono/>

「安心・安全」の新たな催し 来年秋に開催決定!

防災や防犯、IT社会におけるセキュリティなど幅広い「安心・安全」をテーマにした産業展が、来年秋、北九州市で開催される。名称は「SAFETEC(セーフテック)2015—第1回西日本防災・防犯危機管理展」。主催は日刊工業新聞社と西日本産業貿易コンベンション協会(北九州市小倉北区)、共催として北九州市が名を連ねる。

国内外の出展者による製品や技術の展示と、防災、防犯、セキュリティに関する情報提供を行うセミナーなどで構成。いざという時に身を守る防災グッズや地震の被害を最小限に抑える免震技術、火災時の警報機やスプリンクラー、雷害対策機器、防犯のため

の監視カメラ、情報漏えいを防ぐオフィスセキュリティ対策などが一堂に会する予定だ。

防災や防犯をテーマにした大規模展示会は九州域内では開催されていなかったため、関係者の関心も高い。新しい地域の目玉イベントへと成長することが期待される。



「SAFETEC2015」のイメージ

アクセスはサクセスに近い。

移動に便利な交通網で、会場へも街へもスムーズにアクセス!



マリメッセ福岡

福岡国際会議場

福岡国際センター



一般財団法人 福岡コンベンションセンター
FUKUOKA CONVENTION CENTER

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1

<http://www.marinemesse.or.jp>

TEL.092-262-4111

FAX.092-262-4701